

# 気になるフィオーレ喜連川人 Vol. 25

## 食べることは生きること



種から育てたこだわりの赤カブ甘酢漬け



5丁目 神々工

食べることは生きること。現代人はそれを忘れがちだ。『食』に対し人一倍強いこだわりをもっているのは今回の主役、神々工さん。『食』を意識するようになつたのは少女時代の体験から。雪深い青森で生まれ、冬の間学校へ通う為に親下を離れ下宿。「母親は料理ができない人だったの。」一番身近な存在である母親から料理を教わることもなく下宿生活に入ってしまった為毎日、唯一作れるチャーハンだけを食べて過ごした。それが原因で身体を壊し、闘病生活を強いられる。『食』の大切さを痛感し思い知らされた。このまま料理ができない女では自分がダメになる。家族の健康も守れない。将来結婚して旦那さんになる人がかわいそうだ。卒業後は働きながら料理教室に通った。「40代で勤めた先の社長はとにかく食道楽!『美味しいものは自分の舌で覚えて家族に作ってあげなさい。』」そう言って社員を連れて食べ歩いた。美味しいものにたくさん出会って、「流のお吸い物はこうでなきゃいけないだとかすぐく学んだ。」素材にこだわり、

生かすことを知り、ついには自分の求める食材がなければ種から育てるまでに、「甘酢漬けにはこの赤いカブ。この辺りでは売っていないの。弘前から種を取り寄せているの。」代用品では納得がいかない。1ミリも妥協できない。『食』へのこだわりはいつしか人生の歩みそのものとなる。とにかく自分でやってみないと気が済まない。食べて美味しいものは再現し、失敗すれば何度でも繰り返し研究する。自分の感じたこと、経験だけを信じ突き進んでいく。しかし、その人生観を覆す出会いが訪れる。ある時、フィオーレの親しい人を通じ、地元農家の奥様たちを中心とした味噌作りグループに入れてもらう。「その内の一人の奥さんの作った沢庵の美味しさに驚いたの!こんな今まで食べたことない!」つて。すぐに作り方を教えてもらって、それ以来ずっと作り続けている。「農家として生きる彼女たちは、生活の知恵として地域に昔からある食べ物をずっと守り続けている。味噌、沢庵、炭酸まんじゅう…。長い時間

を経て伝えられていく中で、進化、変化を繰り返して、一人ではなく、そこに関わる先祖代々歴史がつくりあげてきた味。農家に嫁ぎ、この地で根をおろして生きる彼女たちだからこそ成せる業だ。そのひたむきな生き様に感銘を受けた。彼女たちは、嫌なことがあっても逃げられない。だからどんな境遇であっても愚痴をこぼさない。辛い目にあっても「まあ、しょうがない。」その一言で受け容れ許してしまふ。「彼女たちはわたしの人生の教科書!多少苦しいことがあっても、彼女たちならこんなことで怒ったり、挫けたりしないと思うとがんばれる。わたしは農家ではないけど彼女たちに出会って、多くのことを教えられた。だから今度はわたしがその学んだことを伝えていきたい。」振り返ると偶然にも『食』に繋がる出会いの連続だった。食べることの根源にある、生きるということ。人生を変えた彼女たちのひたむきな姿にその原点を垣間見た。食べることは生きること。タエさんもまた、それにまっすぐなひとりだ。

記事: 大河原千晶

## 第十三回 氏家雛めぐり開催



2月6日(土)から3月6日(日)にかけて、氏家の商店街付近の商店や施設、個人宅などで雛人形が展示される氏家雛めぐりが開催されます。今年で13回目を迎え、約70箇所で雛人形や様々な手

作り人形などの展示が行われます。今回は開催期間中に行われる雛めぐりにまつわる様々なイベントをピックアップ。見所をチェックして歴史のある商店街を歩いてみてはいかがでしょうか?

2月27日(土)/3月5日(土)  
着物で雛さんぽの日

着物で巡れば楽しさ倍増!着物体験着付を1,000円で実施します。(着物はご持参ください)また、ボランティアガイドが氏家の史跡スポットを案内してくれる「てくてく史跡路」も同時開催。体験着付予約 090-8043-9271



てくてく史跡路(参加無料) eプラザ壱番館前13:30集合

2月11日(祝)/3月3日(木)  
鐵竹堂 瀧澤記念館特別公開

天皇の休息所に充てられた事もあつた歴史的な建造物 鐵竹堂。明治の雲田気漂う県指定文化財を特別公開し、「つるし飾り 大正時代の着物の展示」を行います。開館時間 10:00~16:00



2月6日(土)  
氏家ひなめぐり号運行

恒例の人気イベント。この日のために、海浜幕張駅から氏家駅に臨時快速列車が走ります。駅前では、地元の高中生や氏家子ども囃子会の演奏(10時開始)で乗客をお迎え。数量限定の氏家福福鍋も無料提供されます!



期間中毎日開催  
体験教室 おひな塾

お雛さまからお細工物まで、曜日毎に変わる雛祭り関連グッズを手作り制作。旧山信用金庫にある雛の駅にて毎日開催。雛の駅にはおみやげ品販売所もあるので、是非お立ち寄り! 予約 080-1132-7820



主催 氏家雛めぐり春の会 TEL 028-681-5757  
後援 さくら市 氏家観光協会 URL www.ujie-hinameguri.net  
氏家商工会  
琴平通り商店街協力会

詳しくはeプラザ壱番館までお問い合わせください。また、管理組合で氏家雛めぐりのパンフレットを配布しています。数に限りがございますので、お早め!